



# 多国籍軍への参加

とんでもない

## 憲法も国会も無視する「小泉暴走、ストップ 力あわせ憲法9条守ろう

歴代自民党政府も憲法上できないと明言してき  
た多国籍軍への自衛隊の参加。小泉首相は、憲法  
も国会も無視してプッシュ大統領に約束。  
いまこそ、「戦争をしない」「戦力を持たない」  
と決めた憲法第9条を守り抜くときです。



「攻撃される  
心配があるから先に攻撃する」  
「国連憲章51条  
に違反する侵略戦争そのもの。」

「日本が集団的自衛権を否定していること  
が、同盟関係を束縛するものとなっている。こ  
れを撤回することは、より緊密で効果的な安全  
保障協力を可能にする」  
「われわれは合衆国と  
英国との特別の関係を日米同盟のモデルとみな  
す」  
(00・11・10アーミテージ・レポート「合  
衆国政府と日本・成熟したパートナーシップ  
に向けて」)

イラクで無法な占領と軍事行動を行っている  
「占領軍」が看板を架け替えただけの「多国籍軍」、  
米軍が指揮権を握る軍隊への自衛隊参加は、憲法  
に違反して日本が集団的侵略という無法行為の共  
犯者になることです。

「アメリカと一緒に戦争する国」になる上で、  
何より邪魔になるのが憲法9条。日米同盟＝安保  
条約を最優先する小泉内閣と自民・公明・民主は  
いま、「改憲」を競い合っています。

アメリカ力言いなり、中東・アジア・世界の平和  
の流れに背を向けるこの道は、日本がますます孤  
立する道。

憲法9条をもつ国がなすべきことは、「有事」  
を起さない努力をし、国連憲章と、紛争は平和的・  
外交的手段で解決するという当り前の原則を守る  
ことではないでしょうか。